

土壌教育推進事業「学校教育及び社会教育における土壌教材の開発・活用を探る」

学校教育や社会教育における教科学習・環境学習の実態を調査しますと、生態系構成要素の中で大気や水、生物などに較べて、土壌についての指導は消極的であることがわかりました。我が国では、高齢化などによる農林業離れが進み、耕作放棄地や放置林が拡大しており、土壌劣化が深刻視されています。加えて、気候変動に伴う土砂災害の発生が頻発しており、土壌管理・保全の必要性が増しております。一方、人々の土離れが続いており、学校や社会における土壌教育の推進が急務となっております。

2015 年国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」の目標 15「陸の豊かさを守ろう」のターゲット 3 では、「2030 年までに、砂漠化に対処し、砂漠化、干ばつ及び洪水の影響を受けた土地などの劣化した土地と土壌を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力する。」とあり、食料・水あるいは温暖化などとも深く関わる土壌の大切さを次世代に教育することは重要です。本活動では、土壌の教材化を支援し、具体的な土壌指導案を作成して学校や社会教育機関に持ち帰って実践することを目指します。

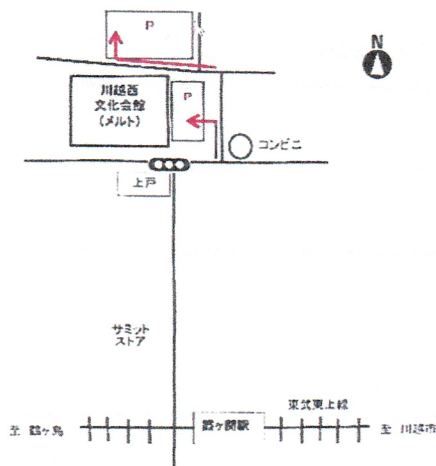


- | | |
|-------|---|
| ・開催日時 | 第一回 7 月 24 日 (木) 9:00~15:00 第二回 7 月 25 日 (金) 9:00~15:00
第一回、第二回の 2 日の参加を原則としますが、いずれかの 1 日の参加も可とします。 |
| ・対象定員 | 小学校・中学校・高等学校教員及び実習教員、社会教育機関学芸員など 15 名 |
| ・会場 | 川越西文化会館 (メルト) |
| ・参加費 | 無料 |
| ・申込先 | 下記申込み用紙にご記入の上、送信先 (筆跡研究所内 環境教育研究所: 〒350-1114 埼玉県川越市東田町 9-2 平野ビル 2A、TEL049-256-7581、FAX049-256-7582) に FAX してください。 |
| ・締切り | 令和 7 年 7 月 19 日午後 5 時までとし、先着順とします。定員に達しましたら、筆跡研究所 HP に募集終了を掲載します。 |
| ・助成先 | 本事業は、「サイサン環境保全基金」の助成のもとで開催します。 |

2. 会場

川越西文化会館(メルト) (〒350-0815 埼玉県川越市鯨井 1556-1、TEL049-233-6711)

交通アクセス(シャトルバス 10 系統「西文化会館」降車すぐ、東武東上線 霞ヶ関駅降車 徒歩 12 分)、駐車場(一般 140 台)



3. 講師

※取得した個人情報は、本事業の事務に必要な範囲以外は使用しません。なお、参加決定後活動内容等を送付いたします。